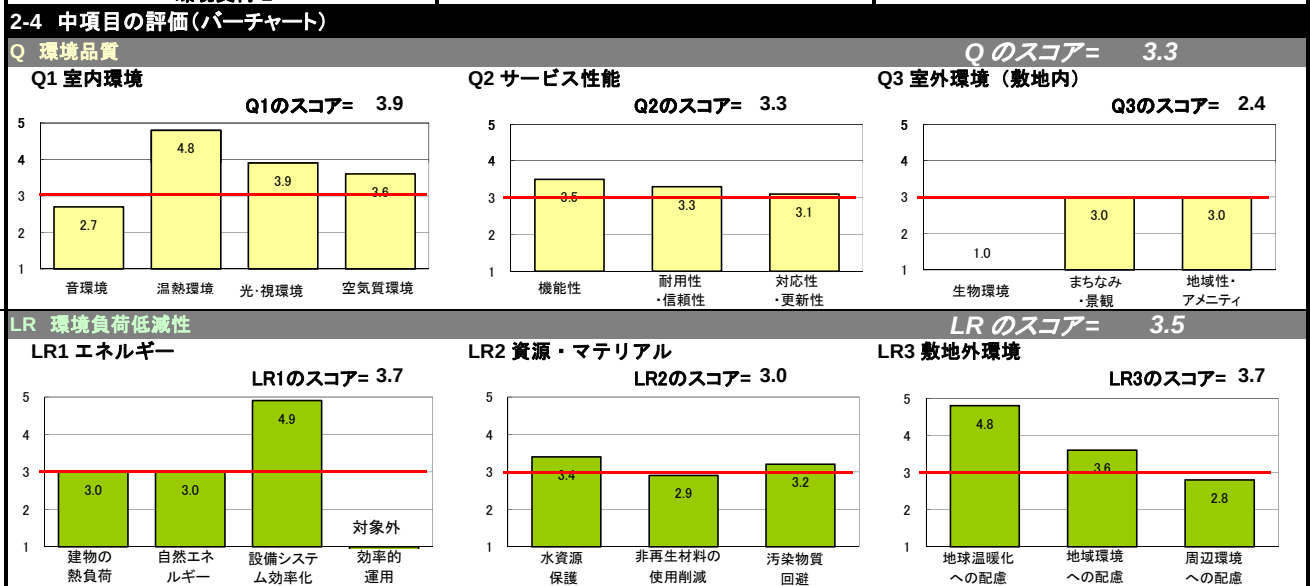
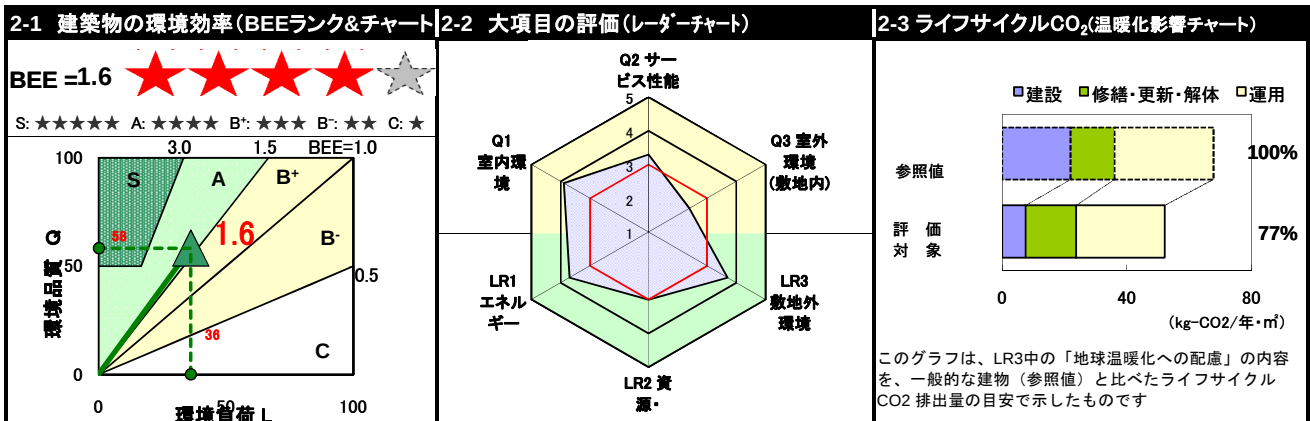


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ライオンズ宇品西	階数	地上15F
建設地	広島市南区宇品西四丁目1322-6	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	263 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年9月10日
敷地面積	3,074 m ²	作成者	㈱U建築設計事務所 柴崎 和彦
建築面積	834 m ²	確認日	
延床面積	6,645 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.5		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.8	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.3
設計の計画・特段に配慮した事項 住宅性能評価 省エネ対策等級3を確保。住戸開口部に遮熱低放射複層ガラス(Low-E)を採用。// 自然冷媒を用いたヒートポンプ蓄熱システムを採用。// 節水型便器、浴室・キッチンには節湯水洗の採用。// 可能な限りCO ₂ の排出を削減。	設計の計画・特段に配慮した事項 広島市緑化推進制度の緑化率を確保。// 雨水流出量の抑制、適切な駐車・駐輪スペースを確保。	設計の計画・特段に配慮した事項 住宅性能評価 劣化対策等級3を確保。// 住戸内給水は先分岐工法・排水管のコンクリート埋込なしとし、設備のメンテナンス・更新が可能なレベルを確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される